

自治体向け健康増進サービス「健康マイレージ」における マイナポータル健診情報との連携機能を提供開始

～民間 PHR 事業者との協力によるマイナポータル健診情報の利用価値向上に挑戦～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、自治体向け健康増進サービス「健康マイレージ」（以下、本サービス）におけるマイナポータル健診情報との連携機能を、2023年2月3日（金）から提供開始いたします。

加えて、今後自治体が、住民の健康増進を目的にマイナポータル健診情報を効果的に活用できるよう、民間の PHR（Personal Health Record）事業者であるエムスリー株式会社（以下、エムスリー）および株式会社 ウェルクル（以下、ウェルクル）の 2 社を通じて、マイナポータル健診情報の利用価値をより高め、住民の行動変容まで実現できる自治体向けサービスを、2023年9月（予定）から提供開始いたします。

ドコモは、令和4年度ヘルスケアサービス社会実装事業費補助金「地域や職域の課題に応えるビジネスモデル確立に向けた実証事業」において、2022年11月29日（火）から、本サービスとマイナポータル健診情報との連携を実証してまいりました。

今回、本サービスがマイナポータル健診情報と連携することで、本サービスを導入する自治体は、国民健康保険や後期高齢者医療制度に加入する住民に加えて、社会保険などに加入する住民の健診情報を基にしたスコアリング及び統計分析が取得可能となり、より網羅的な情報の活用による効果検証および健康増進の取り組みを推進できます。

加えて、今後は民間の PHR 事業者との協力により、マイナポータル健診情報の利用価値をより高めてまいります。第一弾として、エムスリーおよびウェルクルと協力し、マイナポータル健診情報の活用により住民の行動変容を実現する機能を、2023年9月（予定）から追加いたします。サービスのイメージは別紙をご覧ください。

なお、マイナポータル健診情報は、利用者の同意に基づいて取り扱います。

ドコモは、日本における PHR 促進に貢献するとともに、壮年期を含めた幅広い年代の行動変容につながる新たな健康増進 DX の構築を推進してまいります。

加えて、デジタル田園都市国家構想交付金などの活用による自治体の事業促進、他社との協創による新たな価値提供に取り組んでまいります。

■「健康マイレージ」のサービスサイト

<https://www.d-healthcare.co.jp/business/kenkou-mileage/>

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ ヘルスケアサービス部
ウェルネスビジネス地域連携

kenko-mileage.contact@ml.nttdocomo.com

PHR 事業者との取り組みについて

【エムスリーとの連携による自治体向けサービス】

エムスリーが提供する、健診情報から生活者の余命と健康スコアを予測する健康指標「EBHS（Evidence Based Health Score）Life」[※]を算出し、自治体全体の健康指標として活用することが可能となります。住民の居住地域や検査値ごとにどのような健康状態になっているか見える化し、どのようにそれらが変化していくかの観測を想定しています。



Evidence Based Health Score

demo01@ebhs.com 男性 32歳



EBHSとは？ 科学的エビデンスに基づき医学論文をベースに算出されたヘルススコア。医学統計の専門家が監修し特許を取得している信頼性の高いヘルススコアです。

あなたのスコア・寿命



あなたのランキング

「EBHS（Evidence Based Health Score）Life」[※]の算出レポートイメージ

EBHS改善のためにできること

収縮時血圧を120から100にすることで

EBHS 95.8 → 97.2
予想余命 42年 → 45年

になることが期待できます



改善プラン1

毎日野菜/果物を食べる

- ✓ 今よりも野菜を1日1杯多く食べる
- ✓ 1日果物を食べる日を増やす

適正カロリー計算方法

- ・ 総エネルギー摂取量 (kcal/日) = 目標とする体重 (kg) × 身体活動量
- ・ (軽い活動で25~30、普通の活動で30~35、重い活動で35~)

免責事項テキストが入ります。免責事項テキストが入ります。免責事項テキストが入ります。免責事項テキストが入ります。

あなたの今後10年の疾患リスク

心血管疾患リスク 中



典型的なモデルに基づくと、あなたが心血管疾患を発症する可能性は0.174-0.259%です。

糖尿病リスク 高



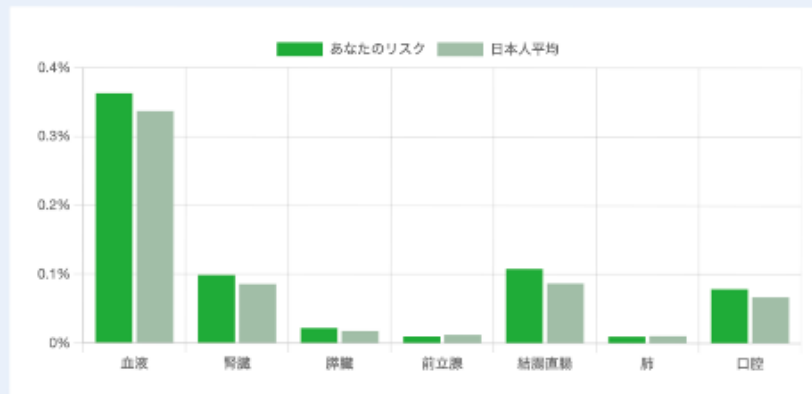
典型的なモデルに基づくと、あなたが糖尿病疾患を発症する可能性は1.03-1.53%です。

がんリスク 低



典型的なモデルに基づくと、あなたががんを発症する可能性は0-0%です。

がんサブタイプリスク



※ がんの予防には、禁煙・節酒・食事（塩分を取りすぎない/野菜を適切に摂取する）・運動・適切な体重コントロールが大切と言われています。また、国の推奨するがん検診は定期的に受診するようにしましょう。

「EBHS (Evidence Based Health Score) Life」※の算出レポートイメージ

※ エムスリー社が提供する、健診結果や生活習慣を元に生活者の余命と健康スコアを予測する健康指標サービスです。詳細は以下のエムスリー社のリリースをご参照ください。

https://corporate.m3.com/assets.ctfassets.net/1pwj74siywcy/4aDDDIUIVTSLEBXOYjIQv/e8426d6241dc06bc871db93bbe3b8d92/20221031_Public_J.pdf

【ウェルクルとの連携による住民向けサービス】

ウェルクルが健診情報を活用して「心臓血管病の進行度」の推定、および「健康アドバイス」を還元するノウハウを活用して、住民の健康増進を促進することに挑戦していきます。これにより、本来住民が保健師などから提供されるアドバイスを、アプリから簡単に取得できることをめざしていきます。



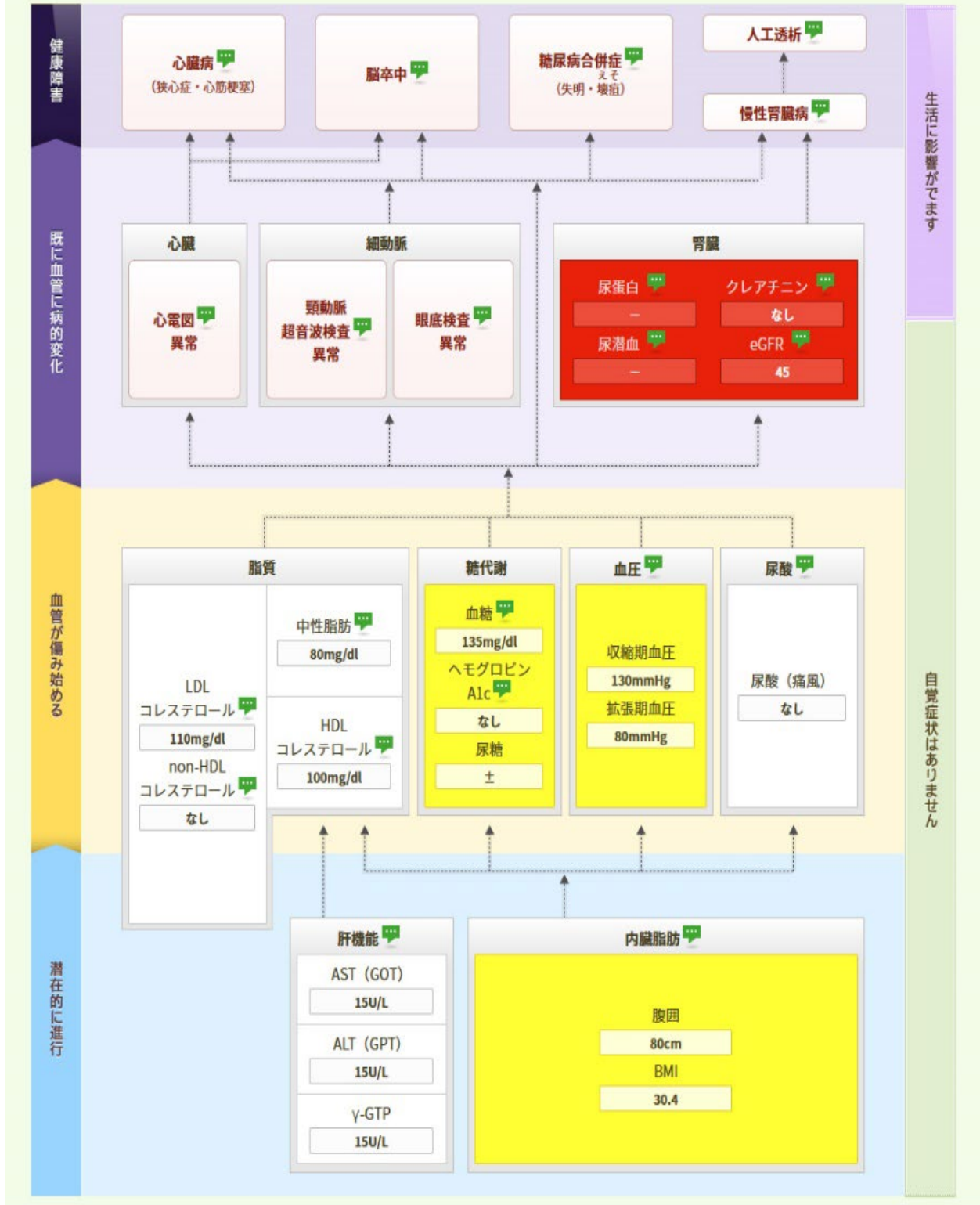
ウェルクルサービスストップ画面イメージ

STEP 1 健診データ取得

血圧 必須	上 <input type="text" value="130"/> mmHg
	下 <input type="text" value="80"/> mmHg
血糖 血糖または HbA1c 必須	<input type="text" value="135"/> mg/dl
	採血時間（食後）： <input checked="" type="radio"/> 3.5時間未満 <input type="radio"/> 3.5時間以上10時間

健診情報活用時の「健康アドバイス」遷移画面 1

STEP 2 心臓血管病 進行度チェック



健診情報活用時の「健康アドバイス」遷移画面 2 (心臓血管病進行度チェック)

STEP 3 健康アドバイス

○ あなたの健診結果について

- 腎機能が中等度低下し、治療を検討するレベルです。
- CKD（慢性腎臓病）の可能性が否定できないので、尿の再検査が必要です。再検査の結果が「尿蛋白（+）：陽性」であれば、すぐに治療を開始する必要があります。念のため、医療機関を受診してもう一度尿検査を受けてください。
- なお、CKDの人では、そうでない人に比べて、末期腎不全により透析治療が必要な状況に10倍以上なりやすく、脳卒中・狭心症・心筋梗塞といった心血管疾患の発症やそれによる死亡の危険が2倍以上になることがわかっています。しかし、これらの危険は、適切な治療により軽減することが可能ですので、早期治療が重要です。
- 肥満に血糖検査値、血圧値の異常が重なっています。
- 医療機関への受診をお勧めします。
- 肥満や喫煙、検査値の異常が複数重なっている場合は、早めの受診が必要です。
- すでに治療中の方は、主治医にご相談ください。

○ あなたの健康のための情報

- 腎臓は血液から、不要になった老廃物を濾し取る働きをします。腎臓の働きが低下すると、老廃物（尿酸、クレアチニン等）が排泄されず血液中に多くなったり、逆に尿中に大切な蛋白質が漏れたりします。体の水分の調整をしています。
- 高血糖や高血圧、脂質異常、高尿酸、結石や加齢など様々な原因で腎臓を痛めます。
- 脂肪細胞は、エネルギーを貯える倉庫ですが、細胞が大きくなり過ぎると血糖値、血圧、脂質異常等を起こす物質（サイトカイン）を分泌します。
- 糖は体のエネルギー源で大切な物質ですが、血液中に多すぎると、赤血球や白血球など大切な物質とくっついて正常な働きを阻害します。また、高くなった血糖そのものが膵臓や腎臓、神経、膵臓を傷めます（糖毒性）。
- 血圧は血管の壁を押す圧力で、圧が強いと血管が傷ついたり瘤（こぶ）ができ動脈硬化へと進みます。
- 血糖や血圧異常の改善のためには内臓脂肪を減らすことが近道です。